

「多様な価値観をもつオーストラリアの人々」

●講師紹介 榊 道人 氏

日本のオーストラリアンフットボール選手です。現在の日本のオーストラリアンフットボールのシンボリック的存在。早稲田大学在学中にオーストラリアンフットボールを始め、2008年のインターナショナルカップでは、日本代表のキャプテンを務めました。現在は、都内でオーストラリアンフットボールを含むオーストラリアの広報活動や、ボランティアを含むコーチング活動などを行っています。

●講演内容

オーストラリアで絶大な人気を誇るオーストラリアンフットボールと、ご自身のオーストラリアでの体験を交えた風習や文化について講演をしていただきました。スポーツでご自身がぶつかった壁や、現地の方々が日本人の話すカタカナ英語に慣れていることなど様々なお話をいただきました。海外研修を有意義なものにするため、いくつかのワークショップも行われ、高校2年生らしい発言も飛び交いました。また、ホームステイの不安を取り除いてくれるような勇気あるメッセージも届けてくださいました。

“Pain is temporary, giving up is forever.”



講演感想文

〈高校部2年生 感想〉

- 今回の講演でオーストラリアの風習や国の雰囲気などを学ぶことができました。また、紹介していただいた“Pain is temporary, giving up is forever.”や“Get out of your comfort zone”という言葉から辛さを乗り越えることの重要性を改めて考えることができました。
- 本日の講演を聞き、オーストラリアでの暮らしを具体的に想像することができました。「公共交通機関は遅延して当たり前」という日本ではありえない常識には非常に驚かされました。
- 今日の講演を聞いて「ほんのすこしの挑戦」というのは、自分の不得意としている事柄に対して自分自身の力で打ち勝っていくことではないかと思いました。
- この講演会を生かして3か月後の海外研修では拙い英語であっても必死に言いたいことを伝えられるように頑張ろうと思いました。また自ら「快適なところ」から出て、今までやったことがないことにたくさん挑戦してみようと思いました。

〈一貫部高校1年生 感想〉

- オーストラリアは多文化な国で、一人ひとりの考え方や文化などが違います。また、スポーツは選手であること以外にもいろいろな関わり方があると思いました。
- 私はオーストラリアでの海外研修がとても不安で、英語が苦手なので相手に言いたいことが伝わるかどうか今でも心配です。しかし、「痛みは一瞬、諦めることは永遠だ」という言葉で、上手く話せなくても挑戦して失敗したほうが悔いはないのではないかと思います。

生活委員より

今回の講演を聞き、今後の学校行事や授業の発言の場など、大小問わずやりたいと少しでも思ったことは全部挑んでいきたいと思いました。今回の講演は新鮮な知識を取り入れられただけでなく、これからの生活で役に立つお話を聞くことができ、大変ためになりました。